

水まわり用車いす本体 6輪タイプ

品番	EWC620A型 (セット品番：EWCS620A型 他)
	EWC620B型 (セット品番：EWCS620B型 他)
	EWC620C型 (セット品番：EWCS620C型 他)



はじめに

安全上のご注意	1
使用上のご注意	3
同梱部品の確認	3
各部のなまえ	4
ご使用前に	5
・シートの取り付け	5
・フットレストの取り付け、取り外し・高さ調整	5
・レッグレストの調整	7
・背もたれの張り調整	7
・ウォシュレット使用時の確認	8
・各部の確認	8

使いかた

使いかた	9
・車いすの使いかた	9
・トイレでの使いかた	13
・「ポータブルトイレ」としての使いかた	14
・浴室での使いかた	15

お手入れ

お手入れの仕方	16
定期的な点検	17

こんなときは

アフターサービス	19
----------	----

商品仕様	21
保証書	22

◆このたびは、水まわり用車いす本体をお求めいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

◆保証書に、取付店名/販売店名、取付日/ご購入日などが記入されていることを必ずお確かめください。

◆この取扱説明書は大切に保管し、必要なときにお読みください。

安全上のご注意 (安全のために必ずお守りください)

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- この説明書では、商品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

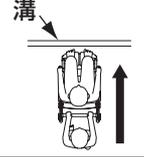
表示	意味
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

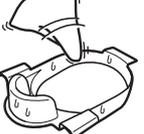
警告	
<p>水中に沈めて使用しない 本体フレームが腐食により破損し、けがをしたり、おぼれる原因になります。</p>	<p>ねじのゆるみなどにより車いすがガタついている状態のまま使用しない 本体が破損し、けがをする原因になります。</p>
<p>体重が100kgを超える方は使用しない 本体のフレームが破損し、けがをする原因になります。</p>	<p>フットレストやシートの上 に立ち上がらない 転倒してけがをする原因になります。</p>
<p>ご使用される方を乗せて移動するときは、車いすごと持ち上げない 転落したりフレームが不意に破損し、けがをする原因になります。</p>	<p>段差の乗り越えなどで、前輪を7cm以上、または後輪(ホイール)を前輪に対し2cm以上浮かさない 転倒、転落してけがをする原因になります。</p>
<p>専用のシート以外は使用しない 本体への固定があまくなり、転落してけがをする原因になります。</p> <p>タオルなど</p>	<p>急発進、急停車、急な方向転換をしない 転倒してけがをする原因になります。</p>
<p>段差を乗り越えるとき以外は前輪を上げない 車体が不安定となり、転倒してけがをする原因になります。</p>	<p>スロープの途中で停車しない 転倒してけがをする原因になります。</p>
<p>急速なスピードで前輪を上げない 転倒してけがをする原因になります。</p>	<p>車いすが横に傾くような床面では使用しない 転倒してけがをする原因になります。</p>
<p>勾配10°以上で長さ30cm以上の急なスロープでは使用しない 転倒、転落してけがをする原因になります。</p> <p>10以上</p>	<p>おしりを浮かして片側に体重をかけすぎない 転倒、転落してけがをする原因になります。</p>
<p>段差・スロープを下りるときは車いすを前向きに移動させない 転倒してけがをする原因になります。</p>	<p>上体を後方に大きくのけぞり、背もたれに体重をかけすぎない 転倒、転落してけがをする原因になります。</p>

はじめに

⚠ 警告

禁止 	背もたれの張り調整時は、背もたれベルト(面ファスナー)の調整限度ライン以上で調整しない 背もたれが外れ、転倒してけがをする原因になります。	調整限度ライン 	必ず実行 	介助の方は、移動の際にフットレストに足が確実に乗っていることを確認する フットレストとフレームの間に足が挟まりけがをする原因になります。	フレーム フットレスト 
	温泉水や入浴剤をかけての使用は行わない 本体フレームが腐食により破損し、けがをする原因になります。			介助の方は、移動の際にフットレストがロックされていることを確認する フットレストが移動中に動き、フットレストとフレームの間に足や手が挟まりけがをする原因になります。	
	フットレストの開閉作業をするときにフットレスト取り付け部のすき間に手や指を置かない 指や手を挟んでけがをするおそれがあります。			ホイールロックをかけるときはストッパー部と後輪(ホイール)の間に手や指がないことを確認し、ホイールロックをかける 指や手を挟んでけがをする原因になります。	後輪(ホイール) ストッパー部 
	酸性洗剤や、塩素系洗剤を使用してお手入れはしない 本体フレームが腐食により破損し、けがをする原因になります。			介助の方は、車いすへの乗り降り時、トイレや浴室での使用時には、確実に左右両方のホイールロックをかける 車いすが動いて、転倒してけがをする原因になります。	ロック 解除 
分解禁止 	修理技術者(TOTOメンテナンス(株))以外の方は分解したり、修理、改造を行わない けがの原因になります。また、性能維持ができなくなり、故障の原因になります。		必ず実行 	シートはシート補強板に確実に取り付ける シートがずれ落ち、転倒してけがをする原因になります。	
	車いすを後ろ向きに移動させる場合、グリップまたはアームレストを持って移動させる 車いすのグリップ、アームレストを持たずに座られた方を持って移動させると後方に転倒してけがをするおそれがあります。			エレベーターの乗り降り時や、浴室の溝ふたなど溝のある床面を走行するとき、溝に対して垂直に走行する 前輪や後輪(ホイール)が溝にはまり、転倒してけがをする原因になります。	溝 
	スロープでのご使用の場合、前輪が浮きやすくなるので、介助者は前輪が浮かないようしっかりと支える 転倒してけがをする原因になります。			背もたれベルト(面ファスナー)は確実に固定する 背もたれが外れ、転倒してけがをする原因になります。	背もたれベルト 
必ず実行 	左右両方のホイールロックが解除されていることを確認して動き始める 転倒してけがをする原因になります。		必ず介助の方が付き添って使用する 転倒してけがをする原因になります。		
	定期的になじのゆるみやホイールロックなどを点検する 本体が破損したり、転倒してけがをする原因になります。		定期的になじのゆるみやホイールロックなどを点検する 本体が破損したり、転倒してけがをする原因になります。		

⚠ 注意

必ず実行 	小さなお子様のいたずらなどに注意する 転倒してけがをする原因になります。		必ず実行 	コモードバケツをセットしてポータブルトイレとして使用する際は、ご使用される方をシートの奥へ深く座らせる バケツと車いすのすき間から小水などが床に飛び散り、汚れ・においが発生する原因になります。	奥へ 
	水はねガードをセットし使用する際は、水はねガードに付着した水滴をふき取る 床に水滴が落下し、汚れ・においが発生する原因になります。			コモードバケツをセットしてポータブルトイレとして使用する際は、ご使用される方をシートの奥へ深く座らせる バケツと車いすのすき間から小水などが床に飛び散り、汚れ・においが発生する原因になります。	奥へ 

使用上のご注意

●次のことをお守りください。

- 人を乗せた状態で、前輪を上げたまま方向転換をしない
異音が発生したり、車いすを傷める原因になります。
- ホイールロックをかけるとき、解除するとき、ロックレバーを足でけったりして過剰な力を加えない
ロックレバーが変形する原因になります。
- アームレストを使って方向転換をしない
アームレストの変形やガタツキの原因になります。



同梱部品の確認

●次の部品があることを確認してください。



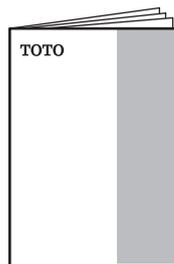
車いす本体



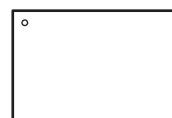
フットレスト右 (1個)



フットレスト左 (1個)

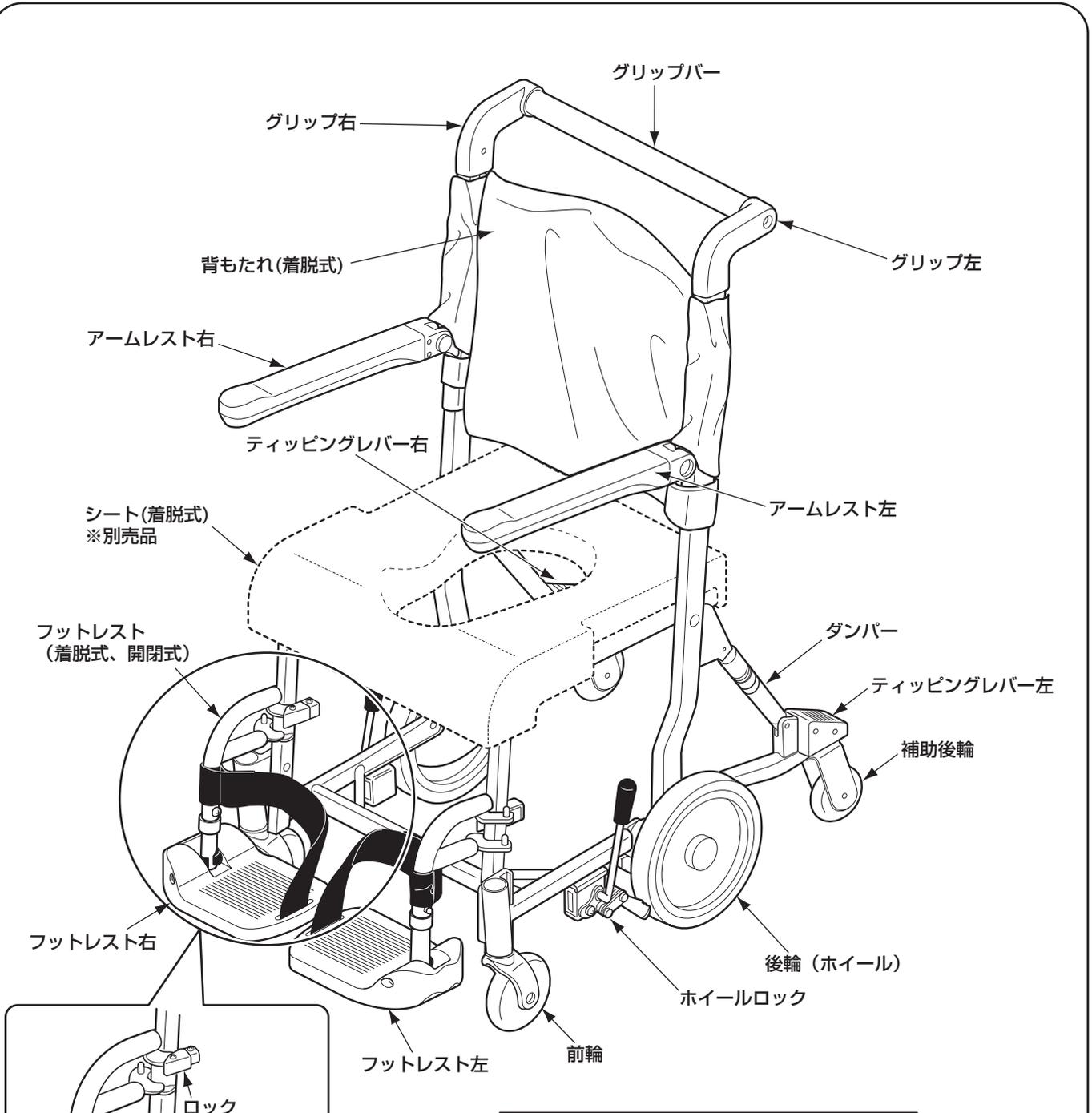


取扱説明書

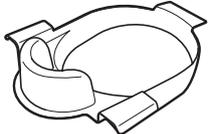
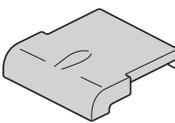


使いかたシート

各部のなまえ



オプション品 (別売品)

<p>トイレで使用の場合、 必ずご購入ください。</p> <p>水はねガード (EWCP622)</p> 	<p>ソフトシート(小穴) (EWCP620)</p> 	<p>ソフトシート(穴なし) (EWCP621)</p> 	<p>コモドバケツ (EWCS623R)</p> 
--	--	--	--

ご使用前に

シートの取り付け

必ず専用のシート(別売品)と組み合わせてご使用ください。

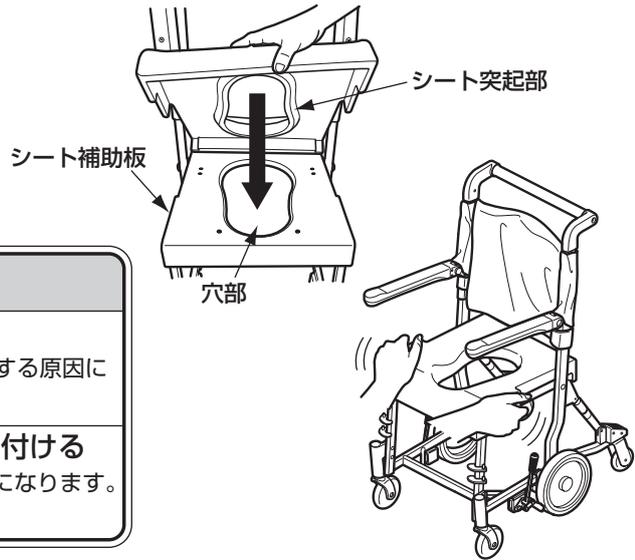
- ・ソフトシート(小穴) : EWCP620
- ・ソフトシート(穴なし) : EWCP621

●車いすにシートを取り付けます。

シートの取り付けかた

①シート補助板の穴部にシートの突起部をあわせてシートを取り付けます。

②シートがしっかりと取り付けられているか、シートを左右に動かし確認します。



警告



禁止

専用のシート以外は使用しない

本体への固定があまくなり、転落してけがをする原因になります。



必ず実行

シートはシート補強板に確実に取り付ける

シートがすれ落ち、転倒してけがをする原因になります。

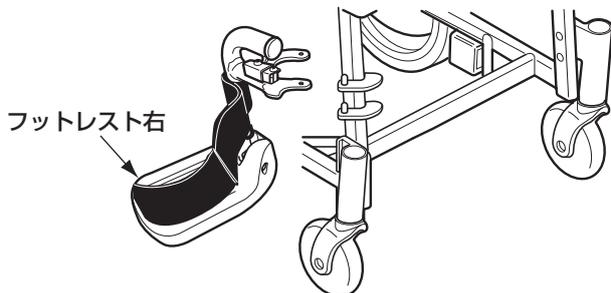
フットレストの取り付け、取り外し・高さ調整

●車いすにフットレストを取り付けます。

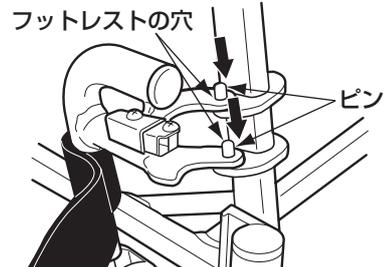
フットレストの取り付けかた

取付方法 ※イラストはフットレスト右の取り付けかた

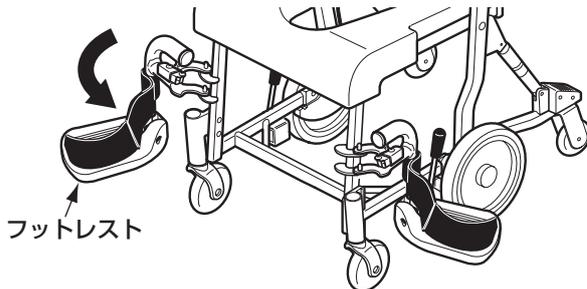
(1) フットレストを外側に開いた状態でセットする。



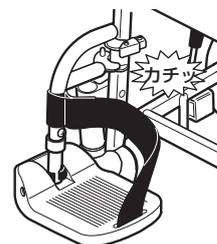
(2) ピン(上下2カ所)にフットレストの穴をあわせて差し込む。



(3) フットレストを回転させる。

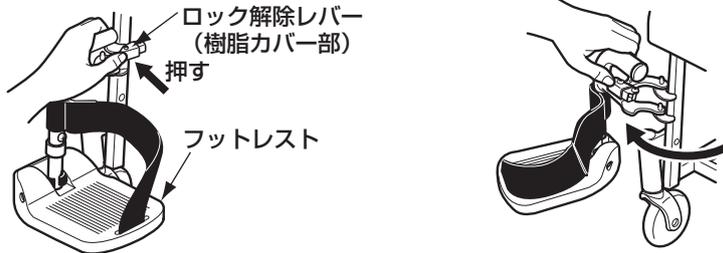


(4) ロック解除レバーがロックしたことを確認する。(「カチッ」と音がします)



フットレストの取り外しかた

取り外し方法 ※イラストはフットレスト右の取り外しかた
 ロック解除レバーの先端（樹脂カバー部）を車いす内側から外向きに押し、フットレストを開く。



フットレストの高さ調整方法

●フットレストは4段階の高さ調整式です。フットレストの位置が窮屈に感じられる場合は、フットレストを低く調整します。(出荷時点では、フットレストが一番高い位置に調整しています)

※フットレストのねじ固定部分はガタが生じにくいように、特殊な構造(フットレストパイプねじ穴と袋ナットでWナット方式)をとっております。以下の手順に従って高さ調整をお願いいたします。

取扱注意

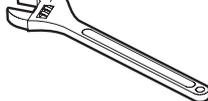
フットレストの高さを調整するときは必ず袋ナットから外す
 固定しているねじが破損し、フットレストが使用できなくなるおそれがあります。

用意する工具

六角棒レンチ
(呼び4)



モンキーレンチ
(200mm以上)

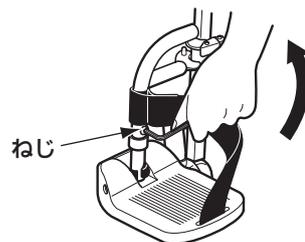


調整方法

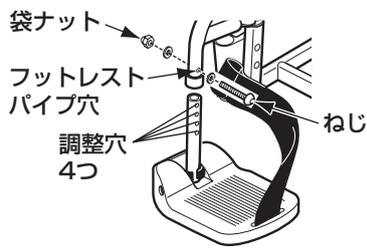
(1)ねじを六角棒レンチで押さえたまま、袋ナットをスパナまたはモンキーレンチで外す。



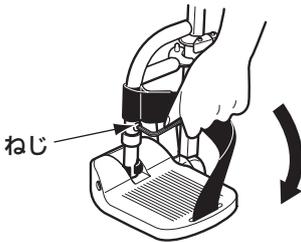
(2)ねじを六角棒レンチで外す。



フットレストが外れた状態



(3)好みの高さでフットレストパイプ穴にフットレストの調整穴をあわせて、ねじを締め付ける。



(4)ねじを六角棒レンチで押さえたまま、袋ナットを締め付ける。



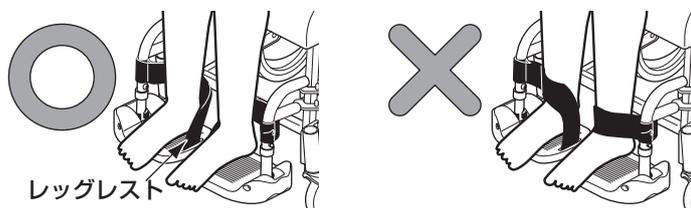
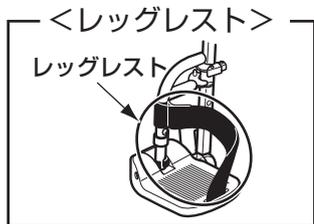
※フットレストの右、左の向きを注意して固定してください。

ねじがフットレストの内側、袋ナットがフットレストの外側になるように固定してください。

※袋ナットを締め付けるときは必ずねじを六角レンチで押さえてください。

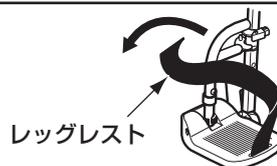
レッグレストの調整

レッグレストはかかとが後方にずれ落ちることを防止するベルトです。



レッグレストの調整方法

- レッグレストの面ファスナーを外し、レッグレストの張りを調整したうえで、面ファスナーをしっかりとつける。



レッグレストの外しかた

- レッグレストは取り外し可能です。レッグレストを取り外すと、車いすを乗り降りする際にあまり足を持ち上げずにフットレストを開閉することができます。

取り外し方法

- (1) レッグレストの面ファスナーをはがす。
- (2) フットレストの長穴にレッグレストの金具を斜めに押し込み、レッグレストを取り外す。



※レッグレストを取り外してご使用の場合、かかとが後方にずれ落ちないようにご注意ください。

※レッグレストを再度取り付ける場合は、逆の手順で行ってください。

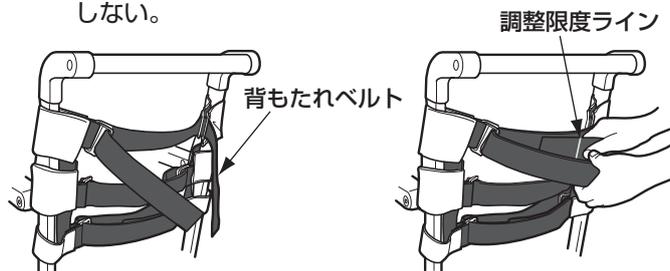
背もたれの張り調整

- 背もたれは張り調整式です。ご使用になる方の状況、体格にあわせて調整します。

- (1) 背もたれの手前の下を引っ張り背もたれを取り外す。(背もたれは面ファスナーで固定されています)



- (2) 3カ所の背もたれベルト(面ファスナー)を外し、張りを調整したうえで、面ファスナーをしっかりとつける。
- ※背もたれベルトの調整限度ラインが見える範囲では調整しない。



- (3) 背もたれを取り付ける。



⚠ 警告	
禁止	背もたれの張り調整時は、背もたれベルト(面ファスナー)の調整限度ライン以上で調整しない 背もたれが外れ、転倒してけがをする原因になります。
必ず実行	背もたれベルト(面ファスナー)は確実に固定する 背もたれが外れ、転倒してけがをする原因になります。

ウォシュレット使用時の確認

TOTOウォシュレット付きトイレで使用する場合は、便座、便ふたを開けた状態でもウォシュレットが使えるようにするためにウォシュレットの種類によっては以下の「水まわり用車いす使用モード」の初期設定が必要です。下記手順にて設定ください。種類によって設定方法が異なります。

水まわり用車いす使用前の初期設定（水まわり用車いす使用モード）

下記品番のウォシュレット・ウォシュレット一体形便器の場合

【ウォシュレット】

- ・ウォシュレット アプリコットシリーズ ・ウォシュレットS1、S2
- ・ウォシュレットSB、SC ・ウォシュレットARなど

【ウォシュレット一体形便器】

- ・ネオレストシリーズ ・GGシリーズ ・ZMR
- ・Z(CES9032、9042、9052、9053、9062、9063、9082、9083、9092、9093)など

※リモコンは機種により、イラストとは異なる場合があります。

<操作手順>

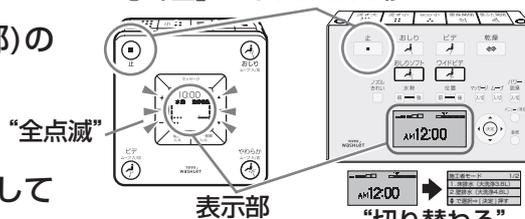
- ① リモコン(リモコンなしタイプの場合は本体操作部)の「止」スイッチを10秒間押し続けてください。表示部が全点滅、または切り替わります。

- ② 全点滅、または切り替わったら「止」スイッチを離して次の操作を行ってください。

- ③ 設定モード中(点滅、または切り替わり中)に「ビデ」スイッチを5秒間押し続けてください。

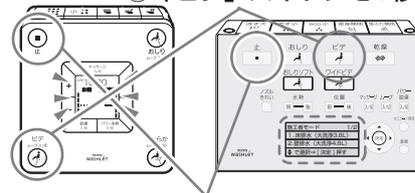
- ④ もう一度、「止」スイッチを押してください。
(※もう一度、上記操作手順を繰り返すと元の状態になります)

① 「止」スイッチを10秒



- ② リモコン表示部が“全点滅”または“切り替わったら”「止」スイッチを離す

③ 「ビデ」スイッチを5秒



④ 「止」スイッチ

※着座スイッチ式ウォシュレット(P.14参照)の場合、オート閉機能が使えなくなります。

※着座スイッチ式ウォシュレットの場合、車いすの位置や動作によっては、センサーが働き、オート洗浄が作動する場合があります。

(ウォシュレットをご使用前に着座モードにする(P.14参照)または、オート洗浄を「切」にしてください。)

ウォシュレット一体形便器 (CES952) ・ウォシュレットHX (TCF5000、5001、5010、5011) の場合

<操作手順>

- ① 「止」スイッチと「おしり」スイッチ10秒間押し続けてください。
本体表示部が全点灯し、電子音が「ピッ」と鳴ります。
- ② 全点灯したらスイッチを離してください。表示部が全点滅します。
- ③ 設定モード中(点滅中)に、「おしり」スイッチと「ビデ」スイッチを5秒間押し続けてください。
- ④ もう一度、「止」スイッチを押してください。
(※もう一度、上記操作手順を繰り返すと元の状態になります)

各部の確認

車いすを安全にご使用いただくために、ご使用前に、P.17～P.18 定期的な点検を参照に、車いすのガタツキやホイールロックの確認などを行ってください。

使いかた

車いすの使いかた

ホイールロックの使用方法

※ホイールロックは左右2カ所です。

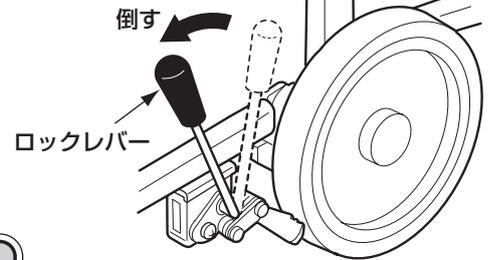
ホイールロックをかける

- (1) 確実に後輪(ホイール)がロックされるまで、ロックレバーを前方(フレームの方向)に倒す。
- (2) ロックレバーから手を離し、ロックレバーが戻らないことを確認する。

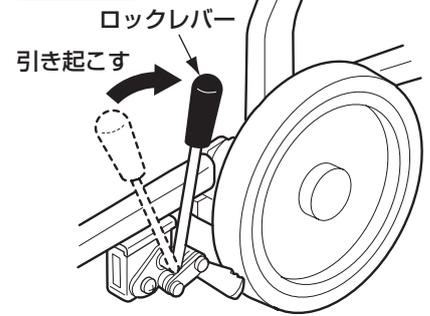
ホイールロックを解除する

ロックレバーを後方に引き起こす。

ロック



解除



警告



必ず実行

介助の方は、車いすへの乗り降り時、トイレや浴室での使用時には、確実に左右両方のホイールロックをかける
車いすが動いて、転倒してけがをする原因になります。

注意



必ず実行

ホイールロックをかけるときはストッパー部と後輪(ホイール)の間に手や指がないことを確認し、ホイールロックをかける
指や手を挟んでけがをする原因になります。

ホイールロックをかけるとき、解除するとき、ロックレバーを足でけったりして過剰な力を加えない
ロックレバーが変形する原因になります。

フットレストの使用方法

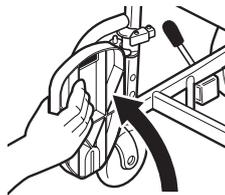
フットレストをはね上げるまたは開くことによって足元に空間ができます。
車いすの乗り降りが容易になります。

フットレストのはね上げ

(1) フットレストを手で持つ。



(2) はね上げる。



[戻すときは逆の手順]



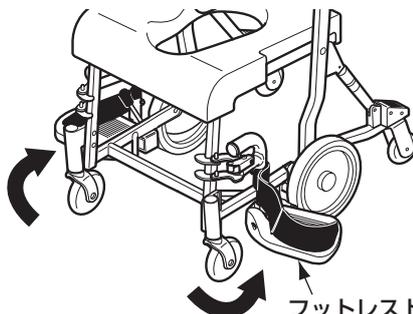
フットレストの開きかた

(1) 解除レバーを車いす側面から
内向きに押す。

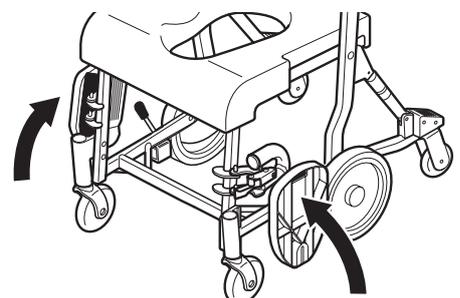
ロック解除レバー



(2) フットレストを開く。



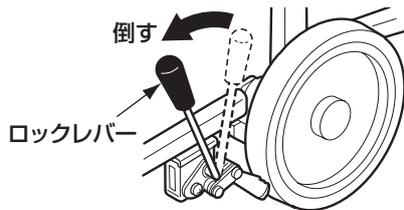
車いすを使用しないときは
フットレストをはね上げると
コンパクトに収納できます。



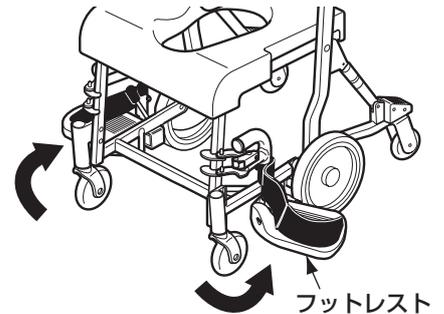
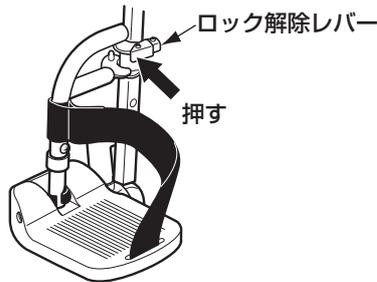
車いすに乗る・降りる

車いすに乗せる場合

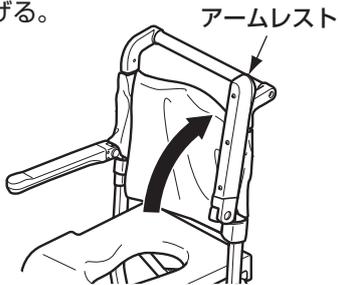
(1) 左右両方のホイールロックを確実にかけ、車いすが動かないことを確認する。



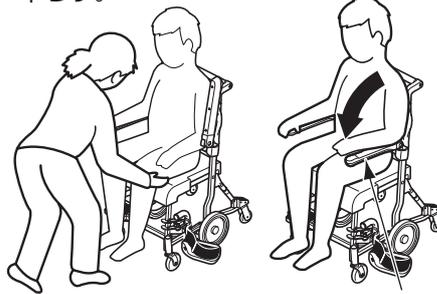
(2) フットレストのロック解除レバーを車いす側面から内向きに押し、両側のフットレストを開く。



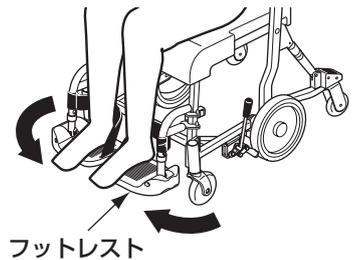
(3) 車いすの横から移乗する場合は、移乗する側のアームレストを上げる。



(4) 車いすに座らせ、上げたアームレストを下ろす。



(5) 左右のフットレストを閉じて、ロックされたことを確認し、足を乗せる。



警告

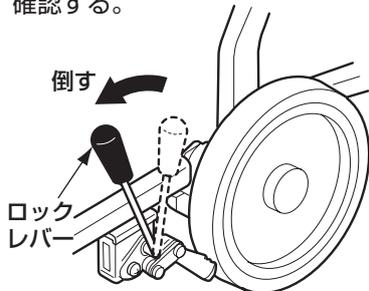


必ず実行

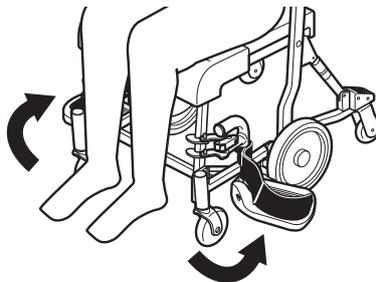
シートクッションはシート補強板に確実に取り付ける
シートがずれ落ち、転倒してけがをする原因になります。

車いすから降ろす場合

(1) 左右両方のホイールロックを確実にかけ、車いすが動かないことを確認する。



(2) 両側のフットレストを開く。



(3) 車いすの横に移乗する場合は、移乗する側のアームレストを上げ、車いすから降りる。



警告



禁止

フットレストやシートの上に立ち上がらない
転倒してけがをする原因になります。

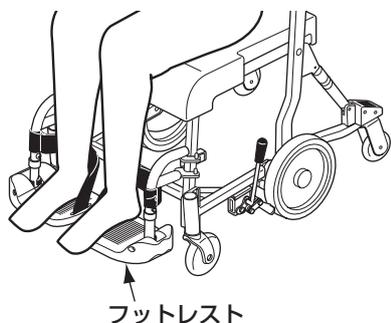


必ず実行

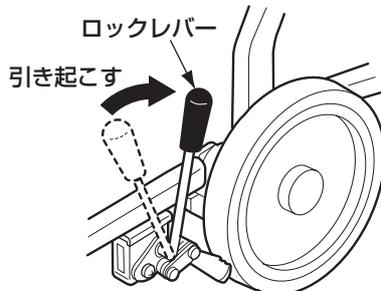
介助の方は、車いすへの乗り降り時、トイレや浴室での使用時には、確実に左右両方のホイールロックをかける
車いすが動いて、転倒してけがをする原因になります。

車いすを動かす

(1) フットレストに足を乗せる。



(2) 左右両方のホイールロックを解除する。



(3) グリップを持って移動させる。



- 人を乗せた状態で、前輪を上げたまま方向転換をしない
異音が発生したり、車いすを傷める原因になります。
- アームレストを使って方向転換をしない
アームレストの変形やガタツキの原因になります。



警告



禁止 急発進、急停車、急な方向転換をしない
転倒してけがをする原因になります。



必ず実行

段差を乗り越えるとき以外は前輪を上げない
車体が不安定となり、転倒してけがをする原因になります。



必ず実行

エレベーターの乗り降り時や、浴室の溝ふたなど溝のある床面を走行するとき、溝に対して垂直に走行する前輪や後輪（ホイール）が溝にはまり、転倒してけがをする原因になります。

左右両方のホイールロックが解除されていることを確認して動き始める
転倒してけがをする原因になります。

注意



必ず実行

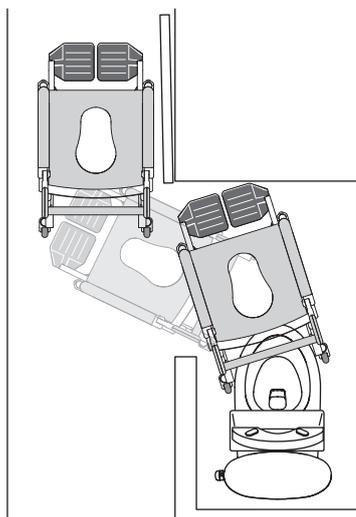
介助の方は、移動の際にフットレストに足が確実に乗っていることを確認する
フットレストとフレームの間に足が挟まりけがをする原因になります。



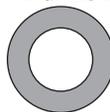
必ず実行

介助の方は、移動の際にフットレストがロックされていることを確認する
フットレストが移動中に動き、フットレストとフレームの間に足や手が挟まりけがをする原因になります。

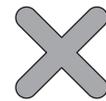
トイレへのアプローチの仕方



車いすを後ろ向きに移動させてトイレにアプローチするときは、車いすのグリップまたはアームレストを持って移動させる。



グリップ・アームレストを持って移動させる



座られた方を持って移動させない

警告



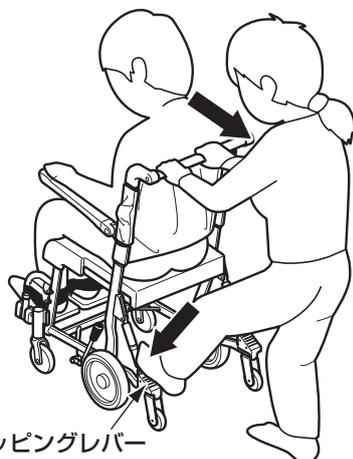
必ず実行

車いすを後ろ向きに移動させる場合、グリップまたはアームレストを持って移動させる
車いすのグリップ、アームレストを持たずに座られた方を持って移動させると後方に転倒してけがをするおそれがあります。

段差を乗り越える

片側のティッピングレバーを踏み、グリップを手前に引く感じで前輪を浮かせる。
段差7cmまで乗り越えられます。

※6輪構造により、前輪の持ち上げが小さな力で行えます。急に前輪を上げると、使用する方が驚くことがありますので、介助者は前輪を上げるときに使用する方に車いすを傾けることを告げて、前輪を上げてください。



ティッピングレバー



前輪

警告



禁止

段差の乗り越えなどで、前輪を7cm以上、または後輪(ホイール)を前輪に対し2cm以上浮かさない

転倒、転落してけがをする原因になります。

勾配10°以上で長さ30cm以上の急なスロープでは使用しない

転倒、転落してけがをする原因になります。



禁止

急速なスピードで前輪を上げない
転倒してけがをする原因になります。

スロープの途中で停車しない
転倒してけがをする原因になります。



必ず実行

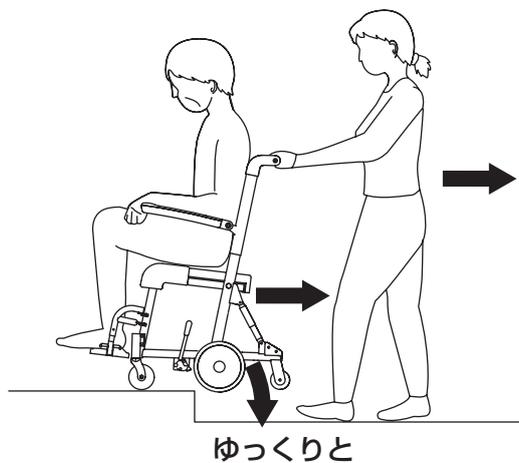
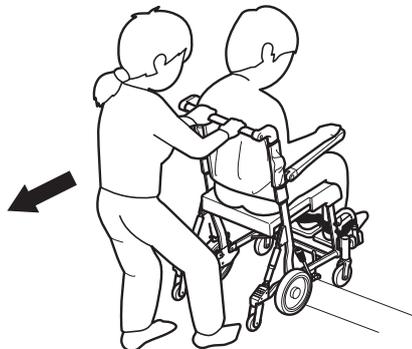
スロープでの使用の場合、前輪が浮きやすくなるので、介助者は前輪が浮かないようしっかりと支える
転倒してけがをする原因になります。

段差・スロープを下りる場合

大きな段差・スロープの場合は、後ろ向きに段差を下ります。

段差を下りる場合は、グリップを持ち、後輪(ホイール)を持ち上げた状態で後ろ向きに車いすを移動させ、ゆっくりと後輪(ホイール)を下ろして、段差を下りてください。

※後輪(ホイール)を下ろすときは補助後輪および後輪(ホイール)が足に乗らないよう注意ください。



ゆっくりと

警告



禁止

段差・スロープを下りるときは車いすを前向きに移動させない

転倒してけがをする原因になります。



禁止

スロープの途中で停車しない
転倒してけがをする原因になります。

トイレでの使いかた

車いすに座ったままトイレでの排泄ができます。

トイレでご使用の場合は水はねガードEWCP622(別売品)を必ずセットしてご使用ください。

⚠ 注意	
! 必ず実行	水はねガードをセットし使用する際は、水はねガードに付着した水滴をふき取る床に水滴が落下し、汚れ・においが発生する原因になります。

- (1) 便器にアプローチする前に、便ふたと便座を一緒に立てる。
(便座を降ろしたままでは、水ぬれや汚れが付着しやすくなります)
※穴なしシートをセットしてお使いの場合は、トイレでの使用はできません。
- (2) 車いすに座ったまま、便器へアプローチする。
※ウォシュレットをご使用の場合は、着座センサーの再設定が必要な場合があります。詳しくはP.8を参照してください。
- (3) 車いすをできるだけ便器の奥へ押し込み、ホイールロックをかける。

水はねガード(別売品)



便座を上げる



※座った状態によっては、便器と水まわり用車いすのすき間からウォシュレットの洗浄水や小水などが飛び散る場合がありますので、介助の方はご使用される方をシートの奥へ深く座らせるよう十分注意してください。

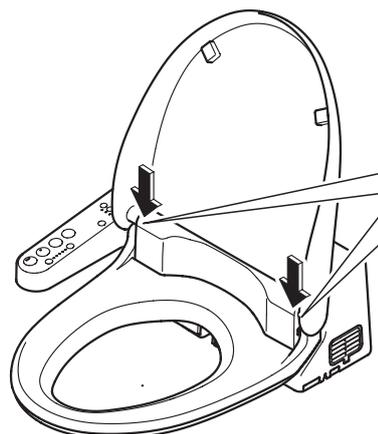
※背もたれの張りをゆるく調整した場合、トイレにセットするときに背もたれが便座にあたり十分奥までセットできないことがありますのでご注意ください。

ウォシュレットの使いかた

- ①水まわり用車いすでTOTOウォシュレットをご使用の場合は、事前に「水まわり用車いす使用モード」への初期設定変更が必要な場合があります。詳しくは「ご使用前に」P.8を参照して設定を変更してください。
- ②TOTOウォシュレットには、センサーで着座を検知する「**センサー式ウォシュレット**」と、便座が上下に動くことで着座を検知する「**着座スイッチ式ウォシュレット**」とがあります。それぞれ使いかたが異なりますので、お使いのウォシュレットがどちらのタイプか確認してください。

着座スイッチ式ウォシュレットの見分けかた

便座後方を手で押えてください。
便座が少し下に下がり、
「カチッ」という音が
します。



左右どちらかに着座スイッチが内蔵されています。

ウォシュレットの使いかた（つづき）

③それぞれの使いかたに沿って、ウォシュレットをお使いください。

センサー式ウォシュレットの場合

車いすをトイレの奥までセットすると、センサーが車いすを検知し着座モードになります。通常のウォシュレット操作要領でおしり洗浄などご使用になれます。

着座スイッチ式ウォシュレットの場合（着座モード）

車いすをトイレの奥までセットし、以下の要領で着座モードにしてください。（ご使用の都度、操作ください）着座モード設定後は、通常のウォシュレット操作要領でおしり洗浄などご使用になれます。

※付属の「使いかたシート」をトイレの壁に掛けるなどしてご利用ください。

リモコンの場合

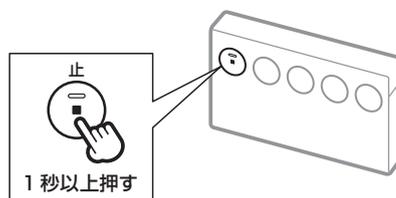
「止」スイッチを1秒以上押す

「ピッ」という電子音が鳴り、着座モードになります。

リモコンで「おしり洗浄」スイッチなどが使えるようになります。

着座モードは最後のスイッチ操作から約5分後に「ピーッ」という電子音が鳴り解除されます。

※解除後も引き続きご使用される場合は、再度「止」スイッチを1秒以上押して着座モードにしてください。



※スイッチの配置や形状は異なる場合があります。

らくらくリモコンをお使いのかたへ

・着座モードにするときは、標準リモコンで操作してください。

ウォシュレット本体操作部の場合

「止」スイッチを1秒以上押す

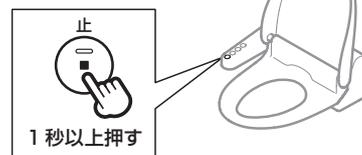
ウォシュレット本体操作部の水勢ランプが現在設定されている位置で点灯します。

※水勢ランプがないタイプは点灯しません。

ウォシュレット本体操作部で「おしり洗浄」スイッチなどが使えるようになります。

着座モードは最後のスイッチ操作から約5分後に水勢ランプが消灯し解除されます。

※解除後も引き続きご使用される場合は、再度「止」スイッチを1秒以上押して着座モードにしてください。



※スイッチの配置や形状は異なる場合があります。

ご注意

●着座モード中におしり洗浄などのスイッチを押すと、便座に座らないときでもノズルから洗浄水が出ます。

上の操作により着座モードにした場合は、下記の機能は使えません。

- ・オート閉機能 ・オート洗浄機能
- ・オートパワー脱臭機能 ・リモコン操作での便座・便ふた閉機能

※機種によっては、この機能がない場合があります。

●ノズルの洗浄位置（前後調節）によっては、洗浄水が水まわり用車いすのシートにかかる場合があります。その場合はシートにかからないように、ノズルの洗浄位置を前後調節してください。

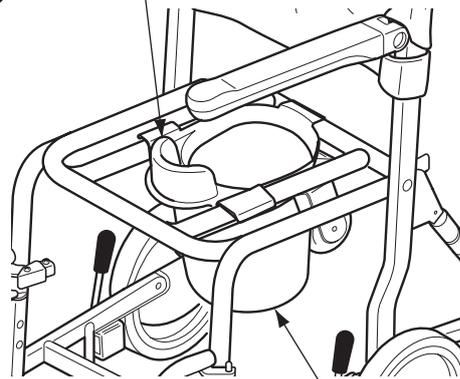
「ポータブルトイレ」としての使いかた

オプション品のコモードバケツEWCS623R(別売品)を取り付けますと、「ポータブルトイレ」として使えます。

※座った状態によっては、バケツと車いすのすき間から小水などが飛び散る場合がありますので、介助の方はご使用の方をシートの奥へ深く座らせるよう十分注意してください。

水はねガードEWCP622(別売品)をセットしてのご使用をおすすめします。

水はねガード



コモードバケツ

⚠ 注意

コモードバケツをセットしてポータブルトイレとして使用する際は、ご使用される方をシートの奥へ深く座らせる



必ず実行

バケツと車いすの間から小水などが床に飛び散り、汚れ・臭いが発生する原因になります。

〈水はねガードご使用時〉

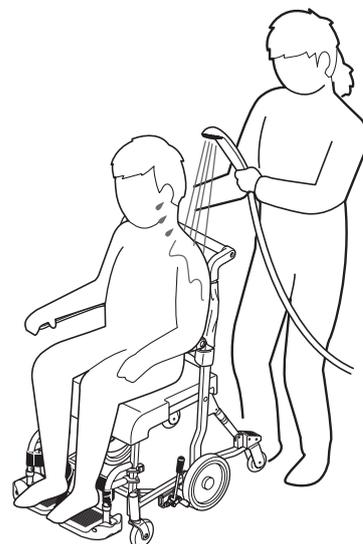
水はねガードをセットし、使用する際は、水はねガードに付着した水滴をふき取る

床に水滴が落下し、汚れ・臭いが発生する原因になります。

浴室での使いかた

水まわり用車いすに座ったまま、シャワーが使えます。

- (1) 車いすのまま浴室に入る。
- (2) 左右両方のホイールロックをかけ、車いすが動かないことを確認する。
- (3) シャワーを使って洗う。



⚠ 警告

水中に沈めて使用しない

本体フレームが腐食により破損し、けがをしたり、おぼれる原因になります。



禁止

おしりを浮かして片側に体重をかけすぎない

転倒、転落してけがをする原因になります。

上体を後方に大きくのけぞり、背もたれに体重をかけすぎない

転倒、転落してけがをする原因になります。

お手入れの仕方

十分な機能を発揮させるため、また、美しく、衛生的にご使用いただくために日ごろのお手入れをお願いいたします。

●通常のお手入れの仕方

- ・ 通常は、水で汚れをさっと洗い流してください。
- ・ 入浴剤や石けんが付着した場合は、よく洗い流してください。
- ・ いつも車いすがぬれているとカビが発生しやすくなります。乾いた布で水分をふき取り、十分乾燥させることをおすすめします。

※シートクッション、背もたれは着脱できます。
(背もたれの取り外しかた P.7参照)



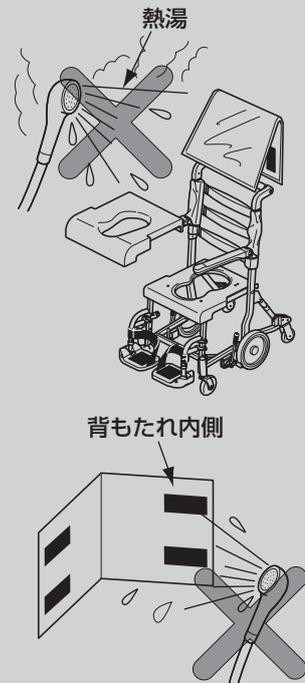
●汚れがひどいときのお手入れの仕方

- (1) 適当に薄めた中性洗剤を含ませた布でふいてください。
- (2) その後、水でぬらしてよく絞った柔らかい布などでふいてください。
- (3) 十分乾燥させてください。



〈お手入れするときのご注意〉

- お手入れをするときは薄めた中性洗剤を使用し、次のものは使わない
 - ・ベンジン、シンナー、クレンザー
 - ・たわし、ナイロンたわしなどの硬い掃除用具車いすを傷める原因になります。
- 直接熱湯をかけてのお手入れはしない
背もたれやシートクッション、アームレスト、グリップなどの変形・変色の原因になります。
- 背もたれのお手入れをする際は、背もたれを水に浸けたり、洗濯機で洗ったり、背もたれの内側に水をかけたりしない
背もたれの内部に水がしみ込み、カビの原因になります。
- シートクッション、背もたれを外に干して乾かすときは直射日光を避け、日陰で干す
変形や変色の原因になります。



⚠ 注意



禁止

酸性洗剤や塩素系洗剤を使用してお手入れはしない
本体フレームが腐食により破損し、けがをする原因になります。

定期的な点検 (このページの見開きをコピーして、点検表として使用してください)

車いすを安全・快適にご使用いただくために、**1カ月に1回**を目安に以下の点検をお願いします。

☑ 車いすの異常はありませんか？

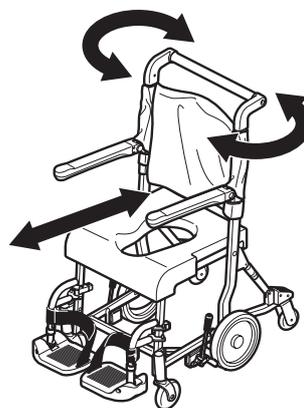
車いすを前後に走行、左右に回転させて車いすに異常がないか、確認してください。

< ねじのゆるみによりガタツキがある場合 >

お求めの販売店、TOTOメンテナンス(株)に修理を依頼してください。

< フレームのひび割れなどの破損がある場合 >

ただちに使用を中止し、お求めの販売店、TOTOメンテナンス(株)に修理を依頼してください。

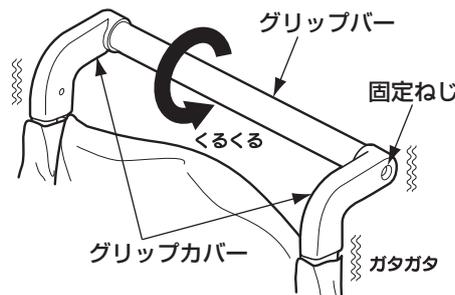


☑ グリップバーの回転、グリップカバーのガタツキや固定ねじのゆるみはありませんか？

グリップバーが回転しないか、グリップカバーにガタツキがないかを確認してください。

< グリップバーが回転したりグリップカバーにガタツキまたはねじのゆるみがある場合 >

お求めの販売店、TOTOメンテナンス(株)に修理を依頼してください。

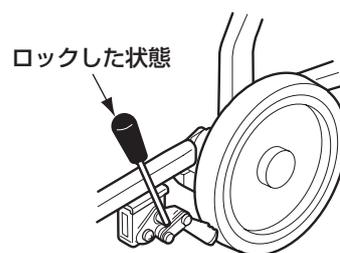


☑ ホイールロックをしたときに車いすは動きませんか？

左右両方のロックレバーをしっかりとかけた状態で車いすが動かないことを確認してください。

< ホイールロックをしても車いすが動く場合 >

ただちに使用を中止し、お求めの販売店、TOTOメンテナンス(株)に修理を依頼してください。



☑ 後輪(ホイール)のガタツキはありませんか？後輪(ホイール)はきちんと回転しますか？

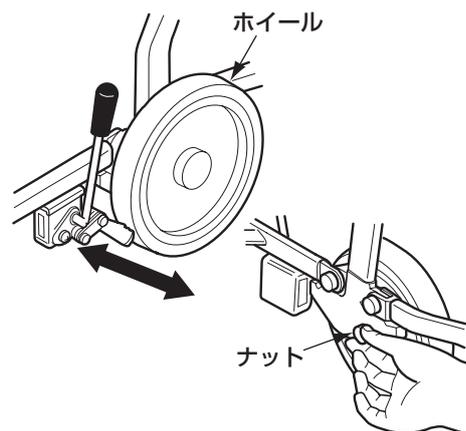
左右の後輪(ホイール)をそれぞれ回転させて、ナットのゆるみやガタツキがないか、きちんと回転するかを確認してください。

< 後輪(ホイール)の軸がゆるみ後輪(ホイール)がガタついている場合 >

お求めの販売店、TOTOメンテナンス(株)に修理を依頼してください。

< 髪の毛などが絡み、後輪(ホイール)の回転が悪いとき >

後輪(ホイール)に絡まった髪の毛などを取り除いてください。



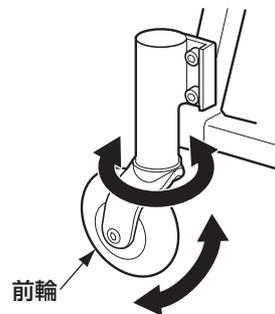
☑ 前輪はきちんと回転しますか？

左右の前輪をそれぞれ回転させて、きちんと回転するかを確認してください。

<前輪の回転が悪いとき>

髪の毛などが絡み回転が悪いときは、前輪に絡まった髪の毛などを取り除いてください。

軸の固着などにより回転が悪いときは、お求めの販売店、TOTOメンテナンス(株)に修理を依頼してください。



☑ アームレストを上げたときにボタンと落ちたり、カバーのガタツキはありませんか？

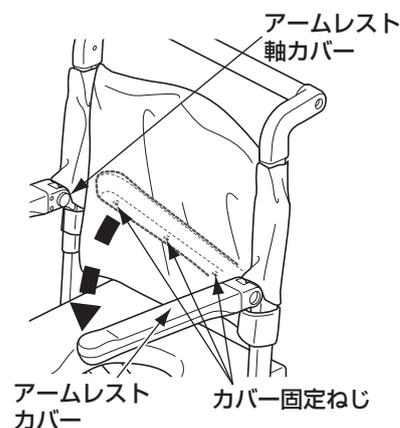
ボタンとアームレストが落ちないことを確認してください。アームレストカバー、アームレスト軸カバーのガタツキやねじのゆるみがないかを確認してください。

<アームレストがボタンと落ちる場合>

お求めの販売店、TOTOメンテナンス(株)に修理を依頼してください。

<アームレストカバー、アームレスト軸カバーのガタツキやねじのゆるみがある場合>

プラスドライバーを使い、カバー固定ねじを締め増ししてください。
※ねじの締め過ぎに注意してください。

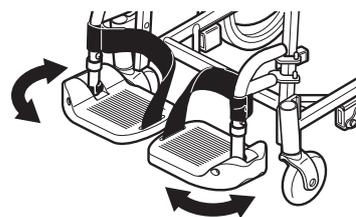


☑ フットレストのガタツキはありませんか？

フットレストを閉じた状態でガタツキがないかを確認してください。

<フットレストがガタついている場合>

ねじのゆるみによるガタツキの場合は、六角棒レンチ、スパナを使い、ねじの締め増しをしてください。



☑ 車いすの前輪を上げたときのダンパー部のクッション性はありますか？

車いすの前輪を上げたときに、ダンパー部のクッションがきちんと効いているか（前輪上げ完了時の軟らかさ）を確認してください。

<クッション性がなくなった場合>

ダンパーの交換が必要です。

お求めの販売店、TOTOメンテナンス(株)に修理を依頼してください。



アフターサービス

保証書（この説明書のP.22が保証書になっています）

- この商品は保証書の内容に従って保証されています。取付日／ご購入日、取付店名／販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は保証書をご確認ください。

保証について

●保証期間中は

保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書、施工説明書、貼付ラベルなどの注意書きに従っていない場合の不具合など」は有料になります。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
→「修理を依頼されるときは」「修理料金について」(P.20)をご確認ください。

部品の交換について

無料修理により取り外された部品・商品はTOTO(株)の所有となります。

補修用性能部品の供給期間

この商品の補修用性能部品（機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えの必要が発生する可能性の大きいもの）の供給期間は製造中止後7年です。

修理を依頼されるときは

【修理依頼先】

お求めの取付店／販売店またはTOTOメンテナンス(株)

【ご連絡いただきたい内容】

- ①住所、氏名、電話番号
- ②商品名 ③品番 ④取付日／ご購入日
- ⑤故障内容、異常の状況
- ⑥訪問希望日

【ご不明な点や修理に関するお問い合わせ先】

「TOTOお客様相談室」または「TOTOメンテナンス(株)」

品番は  部分に貼っているラベルでご確認ください。

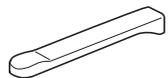


修理料金について<TOTOメンテナンス(株)にご依頼の場合>

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料にて修理させていただきます。
標準修理料金は **技術料** + **部品代** + **訪問料** で構成されています。

ただし、補修用性能部品の保有期間が経過している商品は、修理できない場合がございます。

交換部品について

部品名	背もたれベルト	シート補強板	アームレストカバー (上下セット)	背もたれ
形状	 (1個入り)		 (1個入り)	
品番	EW92010	EW41166	EW41167	EW97011
部品名	フットレスト右	フットレスト左	レッグレスト右	レッグレスト左
形状				
品番	EW21190R	EW21191R	EW29013	EW29014

- 品番や希望小売価格は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様が自分で交換できる部品は上表の部品のみです。その他の部品は修理技術者の方へご依頼ください。
- 交換部品を購入されるときは、「TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター」(電話番号は裏表紙を参照してください)にお問い合わせください。

TOTOメンテナンス(株) TOTOパーツセンターでご購入の場合

■お届けについて

ご注文から2週間以内に宅配便でお届けします。

※ご注文が集中し、商品の品切れによりお届け日が遅れる場合があります。あらかじめご了承ください。またお届けが大幅に遅れる場合は、お届け予定日をご連絡いたします。

■お支払いについて

お届けした宅配業者に、商品代、送料、消費税相当額をお支払いください。
送料につきましては、別途TOTOパーツセンターへお問い合わせください。

■返品・交換について

交換部品の不良などによる返品、交換については、商品到着後8日以内にTOTOパーツセンターまでご返送ください。

送料はTOTOパーツセンターが負担し商品を送付させていただきます。

お客様のご都合による返品、交換については、商品到着後8日以内にTOTOパーツセンターまでご返送ください。なお送料はお客様負担となりますのでご了承ください。お客様の元で、汚れたり破損した商品や、一度ご使用になられた商品の返品、交換はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

商品仕様

項目	仕様	
品名	水まわり用車いす本体 6輪タイプ	
寸法	EWC620A型 全長802mm×全幅470mm(バック時486mm)×全高942mm	
	EWC620B型 全長802mm×全幅470mm(バック時486mm)×全高922mm	
	EWC620C型 全長802mm×全幅470mm(バック時486mm)×全高982mm	
重量	12.5kg	
本体	アルミ合金アルマイト仕上げ	
アームレスト	ポリプロピレン製カバー付き、はね上げ式	
フットレスト	ナイロン(ガラス繊維入り)製、2分割開閉式、着脱式	
背もたれ	塩化ビニール製、着脱式	
ティッピングレバー	ポリプロピレン製	
車輪	前輪	φ100mmキャスター(コア:ナイロン製、タイヤ:ウレタン製)
	後輪(ホイール)	φ200mmホイール(コア:ナイロン製、タイヤ:ウレタン製)
	補助後輪	φ75mmキャスター(コア:ナイロン製、タイヤ:ウレタン製)
カラー	本体 : つやなしアルマイト 背もたれ、シート、アームレスト、グリップ : ベージュ フットレスト、ティッピングレバー : ホワイトグレー	
ご使用体重	100kgまで	
使用可能オプション品	ソフトシート(小穴) : EWCP620	
	ソフトシート(穴なし) : EWCP621	
	コモードバケツ : EWCS623R	
	水はねガード : EWCP622	

TOTO

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。取付日／ご購入日から下記期間中、故障が発生した場合は本書をご提示のうえ、取付店／販売店、または、TOTOメンテナンス(株) 〒105-8306 東京都港区海岸1-2-20 汐留ビルディング(TEL ☎0120-1010-05 FAX ☎0120-1010-02)に修理をご依頼ください。

お客様	おなまえ	様	商品名	水まわり用車いす本体 6輪タイプ
	おところ 〒			品番
取付店/ 販売店	〒	電話	保証期間	取付日／ご購入日から2カ年
取付日／ご購入日	年	月	日	

★お客様へ

- ・この保証書をお受け取りになるときに、取付日／ご購入日、取付店名／販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。なお、本書は日本国内においてのみ有効です。
- ・保証期間中でも、次の場合は有料修理になります。
 - (1) 上記用途以外で使用した場合の不具合。
 - (2) 適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
 - (3) 弊社が定める施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による分解などに起因する不具合。
 - (4) 建築躯体の変形などに起因する商品の不具合。
 - (5) 塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合。
 - (6) 金属の腐食しやすい環境（海岸付近、温泉地など）に起因する不具合。
 - (7) ねずみなどの動物や昆虫が噛んだり、動物や昆虫の死骸が本商品内に残留することなどに起因する不具合。
 - (8) 火災、落雷、地震、噴火、洪水、津波など天変地異または破壊行為による不具合。
 - (9) 部品（乾電池など）の消耗による不具合。
 - (10) 日常のお手入れ箇所（フィルターなど）や水抜栓などのリングやパッキンの摩耗・劣化による不具合。
 - (11) 砂やごみなどの配管内流入、および水あか固着に起因する不具合。
 - (12) 水道に関する国の基準（水道法）に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。
 - (13) 凍結に起因する不具合。
 - (14) 本書の提示がない場合。
 - (15) 本書にお客様名、取付日／ご購入日、取付店名／販売店名、扱者印の記入のない場合。

・部品の交換について

無料修理により取り外された部品・商品は、TOTO株式会社の所有となります。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、「取扱説明書」に記載のお客様相談室またはTOTOメンテナンス(株)にお問い合わせください。

- ・修理完了後にお渡しする修理伝票には修理内容を記載していますので、修理伝票は保管しておいてください。

TOTO株式会社

〒802-8601 福岡県北九州市小倉北区中島2-1-1
お客様相談室 TEL ☎0120-03-1010 FAX ☎0120-09-1010

修理・取り扱いのご相談は まずお求めの取付店・販売店へ

取付店・販売店 〒

電話 —

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は、商品名・品番をご確認のうえ、下記TOTO窓口までお問い合わせください。

お客様専用窓口



商品のお問い合わせは

TOTO(株)お客様相談室へ

TEL ☎ 0120-03-1010

FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間：9:00～17:00（夏期休暇・年末年始を除く）



修理のご用命は

安心・信頼の

TOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ

ホームページ <http://www.tom-net.jp/>

TEL ☎ 0120-1010-05

FAX ☎ 0120-1010-02

受付：年中無休

受付時間：8:00～19:00

訪問修理：年中無休（一部地域を除く）

営業時間：9:00～18:00



交換部品・別売品の
ご購入は

TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンターへ

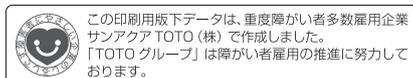
TEL ☎ 0120-8282-55

FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間：平日 9:00～18:00 土・日・祝日 10:00～18:00
（夏期休暇・年末年始を除く）

※インターネットでの部品購入はTOTOWebショップへ(24時間受付)
<http://www.toto.jp/ec/html/index.htm>

お客様からお預かりした個人情報、関連法令および社内諸規定に基づき慎重かつ適切に取り扱います。
詳細はTOTOホームページをご覧ください。



この印刷用版下データは、重度障がい者多数雇用企業
サンアクト TOTO(株)で作成しました。
「TOTOグループ」は障がい者雇用の推進に努力して
おります。

TOTO株式会社

TOTOホームページ <http://www.toto.co.jp/>